

提案書を特定するための評価基準

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点	評価	評価点
① 会社実績	業務実績 同種・類似業務の実績	同種業務の実績数 A：4件以上 B：3件～2件 C：1件 同種・類似業務が0件の場合は、特定しない。	15		
		【評価】 A：配点×1.0 B：配点×0.6 C：配点×0.2			
② 予定技術者の経験及び能力	管理技術者	同種業務の実績数 A：2件以上 B：1件 C：0件 同種・類似業務が0件の場合は、特定しない。	10	35	
		専任性 手持件数 A：5件以下 B：6件～8件 C：9件～10件 10件を超える場合は、特定しない。			
	担当技術者（主）	同種業務の実績数 A：2件以上 B：1件 C：0件 同種・類似業務が0件の場合は、特定しない。	10		
		専任性 手持件数 A：5件以下 B：6件～8件 C：9件～10件 10件を超える場合は、特定しない。	10		
【評価】 A：配点×1.0 B：配点×0.6 C：配点×0.2					
③ 技術提案書	提案書の作り方 （資料作成能力）	理解しやすく、簡潔、明瞭な表現 矛盾や飛躍がなく説得力ある論理構成 情報やデータの使い方、分析・処理の仕方	20	80	
	提案の内容 （提案力）	的確な京丹波町の特性把握や課題認識 合理的な実施方針やスケジュール 業務期間の短縮に関する工夫、提案 主催者の考え方、条件に基づく提案内容 実効性のある計画にするための方策 採用したいと思わせる提案内容 業務に対する取組み意欲	60		
【評価】 総合評価					
④ ヒアリング	ヒアリングの内容 プレゼンテーションの総合的評価	理解しやすい表現 矛盾や飛躍がなく説得力ある表現 採用したいと思わせるプレゼンテーションの内容 業務に対する取組み意欲 質問に対する的確な応答	40		
		【評価】 総合評価			
合計評価点			170		